

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東急ステイ京都両替町通別館新築工事	階数	地上5F地下1F
建設地	京都市中京区柿本町406,408,402,410-2	構造	S造
用途地域	商業地域, 準防火地域	平均居住人員	150 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年10月9日
敷地面積	741 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	548 m ²	確認日	2017年10月10日
延床面積	2,725 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値: 100%
 ②建築物の取組み: 79%
 ③上記+②以外の: 79%
 ④上記+: 79%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.9

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・室内環境、サービス性能に配慮している。 ・建物の省エネ化に努めている。		
Q1 室内環境 ・昼光率の確保に努めている。 ・自然換気性能に配慮している。	Q2 サービス性能 ・給排水管は耐用年数の長い部材を採用している。 ・階高を確保し、空間のゆとりを配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・緑地を設置している。 ・旧市街地型美観地区の認定書を受けている。
LR1 エネルギー ・高性能断熱材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。 ・LED照明等の高効率設備機器を採用し、設備システムの高効率化に努めている。	LR2 資源・マテリアル ・リサイクル材の多用に努めている。 ・LGS下地、OAフロア等、解体時における、リサイクル性に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・建物の省エネ化によりLCCO ₂ 排出量の削減に努め、地球温暖化防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される